






平成 8 年～17 年の主な出来事

<p>平成 12 年</p>  <p>降ひょうによる農作物被害</p> <p>降ひょうが4月と5月にあり、農産物などに大被害を与えました。いには野小学校が開校し、小倉台図書館、県立花の丘公園がオープンしました。</p> <p>また、北総・公団線（現・北総線）「印西牧の原」印旛日本医大」間が開通しました。</p>	<p>平成 11 年</p> <p>住民票の電話サービスが開始。永治プラザが開館し、牧の原公園が開園、印西地区一般廃棄物最終処分場が完成しました。</p> <p>また、松山下公園陸上競技場では市民運動会に代わる「スポーツ健康フェスタ」が開催され、多くのみなさんが参加しました。</p>  <p>スポーツフェスタ</p>	<p>平成 10 年</p>  <p>ふれあい文化館</p> <p>市残士条例が施行。市民のみなさんと市長が直接対話する「市民ふれあい懇談会」がスタートしました。</p> <p>また、草深の森のオープン、ふれあい文化館の開館もありました。</p>	<p>平成 9 年</p> <p>市役所の組織が部制となり、戸籍事務処理の電算化が始まりました。</p> <p>滝野小学校、滝野中学校が開校し、総合福祉センター、松山下公園野球場がオープン。</p> <p>また、8月には「印西とねがわ花火大会」が開催されました。</p>  <p>総合福祉センター</p>	<p>平成 8 年</p>  <p>第九演奏会</p> <p>印西市が4月1日に誕生。印西で30年ぶりの「NHKのど自慢」や、一般公募によるペーパートーベンの交響曲第九演奏会など多くの記念行事が行われました。</p> <p>また、原小学校の開校や南北コミュニティセンターが開館しました。</p>
---	---	---	--	--



<p>平成 17 年</p> <p>市と東京電機大学の連携協力に関する協定が締結。公共施設予約システムがスタートしました。</p> <p>そうふけふれあいの里全館、木下方葉公園がオープンしました。</p> <p>また、市民ミュージカル「ふるさと印西」の公演もありました。</p>  <p>市民ミュージカル「ふるさと印西」</p>	<p>平成 16 年</p>  <p>健康都市宣言</p> <p>印西市市民活動推進条例が施行。「健康で明るく元気に生活できるまち」を目指し、健康都市を宣言しました。</p> <p>また、生涯学習まちづくり推進基本計画、印西市都市マスタープランや印西市男女共同参画プランが策定されました。</p>	<p>平成 15 年</p> <p>印西市中学生議会がおよそ20年振りに開催されました。</p> <p>また、出張所を併設した船穂コミュニティセンターが開館しました。</p> <p>戦時中の印旛飛行場跡地に当たる西の原公園に「平和の碑」が建立されました。</p>  <p>中学生議会</p>	<p>平成 14 年</p>  <p>木下貝層</p> <p>市民活動支援センターがオープン（平成24年に中央駅前地域交流館に移設）し、多くの市民活動団体の活動拠点となりました。子どもを安全を目的とした避難所「こども110番」が開始されました。</p> <p>また、木下貝層の標識地が国の天然記念物に指定されました。</p>	<p>平成 13 年</p> <p>市のホームページが開設。子育て支援センター事業が開始されました。プラスチック製容器包装ごみの分別収集も開始されました。また、印旛高校（現・印旛明誠高校）の創立100周年、成田線全線開通100周年に当たる年でした。</p>  <p>子育て支援事業</p>
---	---	---	---	---

20 年間の人口の推移

※各年 10 月 1 日現在の常住人口

